

# 宮沢賢治不屈の精神に魅せられて 「ホベツイーハトーブ」



写真: 地域住民の手で整備される花壇「涙ぐむ眼」撮影2012.4.26



宮沢賢治の不屈の精神に心酔していた穂別初の民選村長である横山正明氏、村おこしを進める中で苦境に直面。そこで、宮沢賢治の明るく不屈の開拓精神で乗り切ろう。村民皆で明るい村の開拓に向けて。という思いを込め、宮沢賢治のイーハトーブ(理想郷)を思い描き、賢治観音を建立し、村民の精神的なよりどころとしたのが始まり。

穂別富内地区を、北のイーハトーブ(理想郷)づくりの中心地として整備し、宮沢賢治設計の「涙ぐむ眼」花壇を旧国鉄富内線廃線後、賢治思想のシンボルとして地域住民の手で造成した。



旧国鉄富内線廃線跡



写真: 賢治観音



写真: 富内橋からの景色



写真: 涙ぐむ眼

